



5 年連続 男子総合優勝

5月20～22日に岩見沢東山公園陸上競技場で、快晴の中、高体連空知支部陸上競技選手権大会が行われた。

2日目の5月21日には男子八種の走高跳、400mハードル、5000m、女子400mハードル、男女4×100mリレー、砲丸投げなど多くの競技が行われた。

砲丸投げでは政所絢地さん(1C)が10m36という記録で決勝戦を3位で突破し、全道出場を決めた。競技前には他校の選手と楽しそうに話すといったリラックスした様子が見られた。男子400mハードルでは田屋基さん(3F)、竹村隼颯さん(2D)、石黒翔太さん(1F)

発行
滝川西
高等学校
新聞局

担 当
山下紗穂(3D)
森田志音(3F)

4×100mリレーでバトンを繋ぐ苅田さんと渡辺さん

4×100mリレーでバトンを繋ぐ苅田さんと渡辺さん。男子4×100mリレーは一走目竹村隼颯さん(2D)二走目鈴木光さん(3A)三走目苅田琉空さん(3A)四走目渡辺大尊さん(3E)が出場した。アンカーの渡辺さんに4位でバトンが渡ったが岩見沢東を抜き、見事3位でゴールした。男子のリレーは今回の大会でベストタイムを更新したそう。男女共にリレーは大盛り上がりで、競技場内に滝西の大きな声援が響いていた。



400mハードルで全道を決めた主将の田屋さん

と話してくれた。今年行けなかった悔しい思いを全道でぶつけた」と話した。男子4×100mリレーでアンカーを務めた渡辺大尊さん(3E)は今回のリレーについて「アンカーを務めるのはとても緊張した。チーム内のベストタイムが出て良かったけど、目標としていた43秒台に届かなかったのが悔しかった。全道では43秒台に届くようチームをさらに良くしていきたい」と話してくれた。

の3名が出場した。この種目では上位5名が全道に出場できるという中、田屋さんが3位、竹村さんが5位という結果を残し全道出場を勝ち取った。女子400mハードルは、滝西からの出場は沼田心陽さん(2C)のみで、無事に全道出場を決めた。男子八種走高跳びには塚本英太郎さん(2E)が出場し1m55を跳び全道出場となった。5000mは酒井希望さん(3B)、八代奏佑さん(2C)、荒井有哉さん(1C)が出場した。この種目は上位4名が全道出場となる。競技がスタートし、酒井さんと八代さんが2人で群を抜け出し周りと大きく差を広げていった。八代さんはそのままラストで更にペースを上げ1位でゴールした。酒井さんは惜しくも途中で抜かされてしまい3位でのゴールとなったが共に全道出場を決めた。

女子4×100mリレーは

一走目和田春陽さん(2F)

二走目千田実南さん(3F)

三走目大竹佑実さん(1E)

四走目沼田心陽さん(2C)

が出場した。5校が出場し、

その中で上位4校が全道に出

場できるという中で接戦を制

し、見事4位で全道出場を勝

ち取った。男子4×100

mリレーは一走目竹村隼

颯さん(2D)二走目鈴木

光さん(3A)三走目苅田

琉空さん(3A)四走目渡

辺大尊さん(3E)が出

場した。アンカーの渡

辺さんに4位でバトン

が渡ったが岩見沢東

を抜き、見事3位で

ゴールした。男子の

リレーは今回の大会

でベストタイムを

更新したそう。男

女共にリレーは大

盛り上がりで、競



400mハードルで全道を決めた沼田さん

今大会の総合結果は男子が見事1位、女子は惜しくも4位となった。

部長の田屋基さん(3F)は今回の大会を振り返って「今までの練習では怪我で自分自身が走れない期間が長く、不安が多かった中での本番だったが、全道出場を叶えられて良かった。」と話した。5000mで全道出場を決めた八代奏佑さん(2C)は「練習でしっかりタイムを意識して走ったからこそ今日、最初はペースを崩さず後半でペースを上げて走れたのが良かった」と話した。400mハードルで全道出場となった竹村隼颯さん(2D)は、「個人種目のハードルで全道に行けることがうれしい。去年行けなかった悔しい思いを全道でぶつけた」と話した。男子4×100mリレーでアンカーを務めた渡辺大尊さん(3E)は今回のリレーについて「アンカーを務めるのはとても緊張した。チーム内のベストタイムが出て良かったけど、目標としていた43秒台に届かなかったのが悔しかった。全道では43秒台に届くようチームをさらに良くしていきたい」と話してくれた。